

三條別院のご案内

三條別院に想う

標題のような難しいことはよく解らないけれども、一門徒として世の中の役に立たないが邪魔にもならず、朝夕に仏に手を合わせ、無事を祈り、感謝する心は三條別院に通じるものと思っています。

私は二十四組、正念寺の一門徒である。兄弟が多かったせいで、長男の私は幼少時代に祖母と過ごす時間が多かった。その祖母がたいへん信心深い人だったお陰で小さい時から、いろいろの神社、仏閣にお参りに連れていってもらった事が、今になって考えると、私の人間形成に大きく寄与しているように思います。二十四組は教区では一番新しい組であり、一番遠い所に位置しています。十日町と魚沼地区の六カ寺で構成され、これも組の中では一番小さな組ではないかと思えます。この寺は魚沼地区和田の専明寺、中島の萬行寺、六日町の極樂寺、十日町上野の西永寺、千手の榮行寺、それに正念寺です。

大凡、規模も同じ位で、何があってもお互いに助け合う気風は美しい。特に報恩講にはお互いに出向き法要が営まれます。最近では住職方

も殆ど代が替わられて、その絆は益々深いようです。ただ、この地方では雪が多い所で、最近これに加えて地震、洪水に悩まされましたが、三條別院（三教区）の御厚情に感謝しております。

以前より二十四組では門徒会が組織され、毎年四十名位で楽しい日帰り旅行を行っています。親鸞聖人ゆかりの七不思議巡りをやっており、今年十月十日、三條別院をお参りして、田上の了玄寺「つなぎガヤ」を見学することになっています。

時が過ぎるのは、全く早いものです。人間、私というのは自分自身のことであり、自分自身は他の人と代わることは出来ませんし、一人一人の人生も、これは自分自身のものであります。自分に与えられた「生」を、もう一度見つめ直し、「今」を自覚した時に、自分自身の中から私という新しい「いのち」が見出せると思えます。

「今、いのちがあなたを生きている」という言葉をもう一度噛みしめながら、今日も夕べに仏壇に手を合わせようと思っています。

合掌

（第二十四組正念寺門徒 蕪木良吉 氏）

○次回の「三條別院に想う」は、

楠 雅丸 氏（第十八組西源寺）より

ご執筆いただきます

■秋彼岸会・朝の人生講座開催

去る九月二十三日から二十五日まで、二昼夜の秋彼岸会が勤められ、各晨朝には、朝の人生講座が行われました。



【三條別院の梵鐘】

各日の講師は、井上正氏（第十組受徳寺）、鳴澤宏誓氏（第十九組長福寺）、関根正隆氏（第二十二組長徳寺）、藤波龍英氏（第十八組西入寺）、北山尚氏（第二十一組願浄寺）、五十嵐拓也氏（第十五組浄覚寺）。二十四日の日には永代経総経が勤められ、おとぎを挟んで、藤波氏より「共に梵音を聞かん」の題目で法話をいただきました。別院の梵鐘は戦時中に供出され、昭和二十四年に再び作られ、そこには『無量寿経』巻下の「天下和順 日月清明」の文字が刻まれ、経で「兵戈無用」と続くように、戦争によって傷ついた人々の願いが記してあるのだという指摘がありました。参詣者も法話に耳をすましながら、静かに念仏を称えていました。「聞法の秋」です。



【井上氏（左上）、鳴澤氏（右上）、関根氏（左中）、藤波氏（右中）、北山氏（左下）、五十嵐氏（右下）】

■会館使用申込書・仏具等借用願について

標記の書類がホームページ上からダウンロード可能になりました。印刷の上でご利用ください。

■新しい「繋がり」Facebook講習会開催

去る九月七日、Facebook講習会が行われました。インターネットを若者のみならず、様々な方が利用する時代の中、SNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）という「新しい人と人との繋がり」が生まれているという観点で開かれた講習会です。さとうICTサポートの佐藤智明氏を講師に、昼、夜の二部で行われ、パソコンや、スマートフォン、タブレットなどを各々持参で行い、すでに利用している方や、これから始めたい方など、様々な方が熱心に講習を受けました。受講者の中には、Facebookを用いて商店の宣伝をするにはどうしたらよいか、お寺と御門徒との情報の懸け橋にしたいなどの質問が飛び交い、新しいコミュニケーションの形を学ぶ場として有意義な講習となったのではないのでしょうか。

■秋の別院奉仕研修のご案内

本年のお取り越し報恩講を迎えるにあたり、当別院では「秋の奉仕研修」を開催いたします。おみがき、清掃を中心にした奉仕研修です。是非ご参加くださいますようお願いいたします。

◇日時 十月二十五日（木）

九時三十分受付 十時より

◇会場 三条別院・教区同朋会館

◇内容 ①仏具のおみがき②屋外清掃（庭・境内の枯葉拾い・草取り等の作業等）

③屋内清掃（本堂・書院・会館等）

◇締切 十月十九日（金）

◇参加費 無料（昼食は別院が用意いたします）
お申し込みは別院まで。

■報恩講に向け、女性僧侶習礼

昨年よりお取り

越し報恩講の音楽

法要における助音

方を教区内女性僧

侶に依頼していま

すが、本年は四回

の習礼を終え（十

月一日現在）、三十

人を超える僧侶に御参勤を承諾していただいています。習礼は多田誓氏（第十組専徳寺）の指導による伽陀（稽首天人、直入弥陀）、正信偈同朋奉讃、出退作法の講習という内容です。合唱団の練習も始まり、十一月の法要まで、研鑽もいよいよ大詰めです。



【旧御堂にて習礼】

■御命日（二十八日）の集い

宗祖親鸞聖人の御命日であります毎月二十八日に、「御命日の集い」を本堂にて、日中法要と法話、その後、座談会の場を開いております。どなたでもお参りいただけます。皆様のご参詣をお待ち申し上げます。

なお、前日（二十七日）はお速夜法要を、午後一時三十分よりお勤めをしております。

【十月二十八日（日）】

午前十時 お勤め（御命日 日中法要）

文類偈 行四句目下

念仏讃 淘五

和讃 回口 次第六首

回向 願以此功德

◎今月の法話講師

井上知法 氏（第十三組 願性寺）

◇今後の講師一覧

十一月 高田 正人氏（第二十組 西養寺）

十二月 北島 栄誠氏（第十一組 長福寺）

■定例法話会のご案内

毎月十二日には、「両度の

命日」と呼ばれている前門

首のご命日です。また、蓮

如上人も御文の中で、この

「両度の命日」についてお

書きになられています。（四

帖目十二通）

三条別院の一番古い建

造物である旧御堂で仏法に触れるひと時を味わ

いませんか。

皆様、お気軽にお越しください。

◇日時 毎月十三日 ※八月、一月は除く

◇場所 三条別院 旧御堂

午後二時三十分より（二時間程度）

九月～十二月 北原 了義 氏（第十一組 西照寺）



【九月からの講師北原氏】

■別院声明教室のご案内

今年度より、別院声明教室を毎月一回開催いたします。門徒の朝夕のお勤め、得度考査の内容の講習ですので、是非ご参加ください。

詳細は、同封の案内参照。

■三条別院有志の会について

三条別院では「三条別院有志の会」という集いを持ち、法話や座談会（茶話会）など、近隣の方をはじめ、有縁の方にお集りいただいております。

現在十余名の有志の皆様によって活動しておりますが、「三条別院有志の会」では、より多くの方にご参加賜りたく、新たな参加者を募っております。お気軽にどなた様でもご来院くださいますよう、ご案内申し上げます。お問い合わせは三条別院まで。

■別院奉仕研修について

去る九月十九日、真宗学院同窓会主催の、三条別院奉仕研修が行われました。「三年間の学び舎である三条別院に清掃奉仕で報いよう」という趣旨で、第一期、第二期の卒業生九名が集まり、清掃奉仕と座談を行いました。

三条別院では常時奉仕団を受け付けております。先達の篤き御懇念によって護持されてきた三条別院にお越しいただき、その歴史に触れていただくとともに、現代の様々な問題を抱える私たちが、真宗門徒として親鸞聖人のみ教えに出遇う、そのような奉仕研修会を開いてみませ

んか。

ともに語り合い、人間として生きる意味を尋ねていく場となればと考えております。

○日程及び内容について、ご要望等ございましたらご相談承ります。

○奉仕研修会を参加いただく方（団体）の、冥加金は左記のとおりです。

◎冥加金

- ・日帰り 一、五〇〇円
- ・一泊二日 二、五〇〇円

◎食事代（昼・夕食は業者発注のため）

- ・朝食代 五〇〇円
- ・昼食代 一、〇〇〇円程度
- ・夕食代 一、三〇〇円程度

■三条別院非常勤嘱託募集について

全寺院に既に案内させていただきました非常勤嘱託を、引き続き募集いたします。詳細・履歴書につきましては、当別院までご連絡ください。

- 一、募集人数 若干人
- 二、勤務先 真宗大谷派三条別院
- 三、職種 列座業務
- 四、勤務時間 月十五日程度 平常午前六時から八時まで 諸法要及び土日祝日に出勤の場合（月一回程度）は、その限りではない。
- 五、応募資格 ①真宗大谷派の僧侶 ②儀式・声明を学ぶ意欲がある者
- 六、その他 定員になり次第、募集を締め切らせていただきます。

◇◇編集後記◇◇

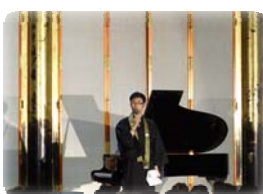
記事の通り、お取り越し報恩講の準備がはじまり、普段以上に仕事量が増える時期である。仕事を「抱え込んでしまう」とことと、仕事を「投げ出してしまう」とことの間で右往左往する自分がある。「人に任せる」ということは、その中間にあり、準備と正しい判断によらねばならず、難しいものである。確かにいきなり言われても相手も困る。そんな時考えるのは、清沢満之の「責任無責任」論である。私が抱える仕事はすべて「やるべき」仕事であるが、現実の自分は「すべてはできない」。この葛藤から「目覚めの倫理学」が生まれると故・今村仁司氏は分析している。……難しいことを言ってみたが、現実には、私にはまだ目覚めはやってこず、睡眠不足の日々を送っている。とにかく、みんなで報恩講を円成させましょう！

別院メールアドレス：sanjo-betsuin@wing.ocn.ne.jp

(S)



【本寺小路あかり物語】



【あかりコンサートで別院の歴史を紹介】